

【ご参考資料】

2012年5月16日
野村アセットマネジメント株式会社

「ハイブリッド・インカムオープン」

2012年5月15日決算の分配金と基準価額推移および投資環境について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「ハイブリッド・インカムオープン」(以下、ファンド)の2012年5月15日決算における分配金について、以下の通りご連絡いたします。

1万口当たり 90円(課税前)(前回は120円)

*原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

ファンドの平均最終利回り※、基準価額水準、分配金対象額等を勘案し、分配金を引き下げました。なお、ファンドの平均最終利回りは2012年4月末現在4.6%でした。

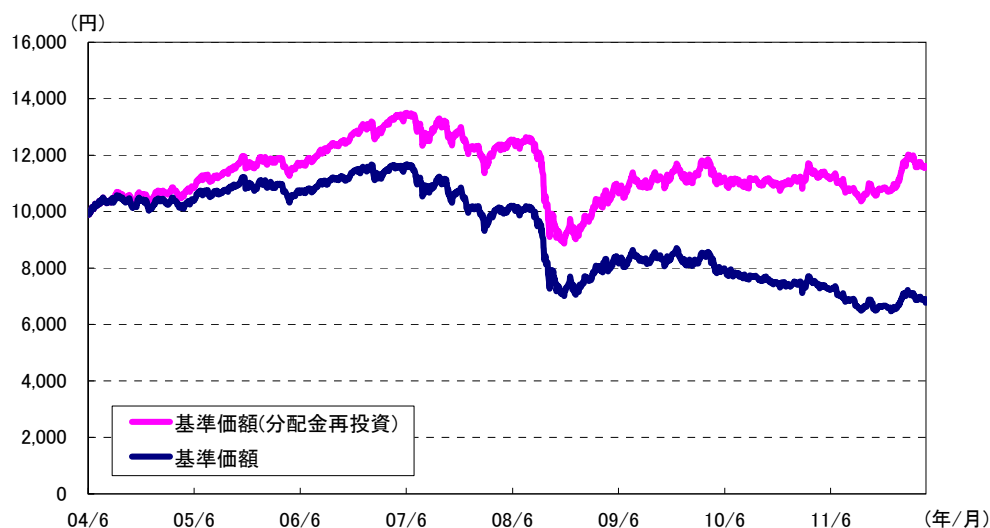
※平均最終利回りは、ファンドの組入債券等(現金を含む)の最終利回りを、その組入比率で加重平均したもの(現地通貨建)。

1. 設定来の基準価額の推移

ファンドの2012年5月15日の基準価額は6,770円となりました。また、基準価額(分配金再投資)の設定来の騰落率は+15.6%となりました。

設定来の基準価額の推移

期間:2004年6月23日(設定日)~2012年5月15日、日次



*基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額です。したがって、実際のファンドは課税条件等によって受益者ごとに価額は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。上記のグラフは過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、「ハイブリッド・インカムオープン」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前ののものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

2. 投資環境

① 高格付債券市場

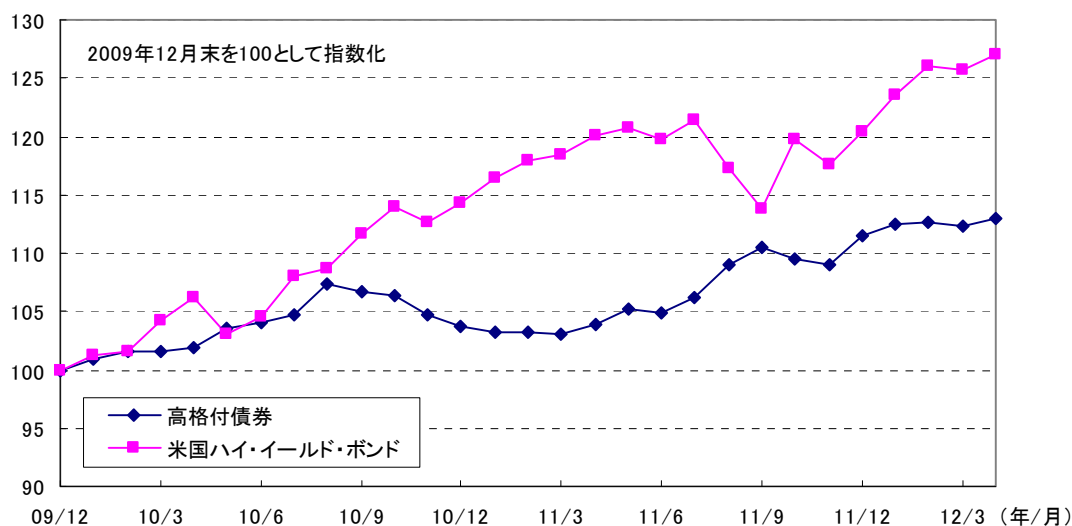
2010 年前半にはギリシャなど欧州周辺国の財政に対する懸念が高まり、安全資産としての米国やドイツなどの債券価格は上昇しました。2010 年後半から 2011 年 3 月にかけては、米国において個人消費などから堅調な経済成長が見られたことや、ECB(欧州中央銀行)がインフレへの警戒感から金融引き締めへ転じる姿勢が見られたことから、主要国の債券価格は下落しました。しかし、2011 年 3 月から年末にかけて、原油価格の上昇や欧州債務問題の再燃などから、再び世界景気の減速が見られ、債券価格は大幅に上昇しました。2012 年以降には、ECB による資金供給策などから金融市場の緊張が緩和され、債券価格が一時下落する場面があったものの、欧州の景気後退などが懸念され、横ばいで推移しました。

② 米国ハイ・イールド・ボンド市場

米国ハイ・イールド・ボンド市場は、2011 年 7 月下旬まで堅調に推移しました。2011 年 8 月から 2011 年 10 月上旬にかけては、代表的な格付会社スタンダード&プアーズ(S&P)により米国の長期債務格付が引き下げられたことや、FOMC(米連邦公開市場委員会)の声明で「景気見通しに著しい下振れリスクがある」と発表されたこと、ギリシャが債務不履行に陥るのではないかと懸念が再燃したことなどから、投資家のリスク回避の姿勢が強まり下落しました。しかし、米国企業の 2011 年第 3 四半期の決算内容が市場予想を相次いで上回ったことなどから投資家のリスク許容度が高まり、2011 年 10 月以降は再び上昇基調で推移しました。

高格付債券と米国ハイ・イールド・ボンドの市場の推移

期間:2009 年 12 月末～2012 年 4 月末、月次



使用データについては 3 ページ「使用したデータについて」をご参照下さい。

(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記のグラフは過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

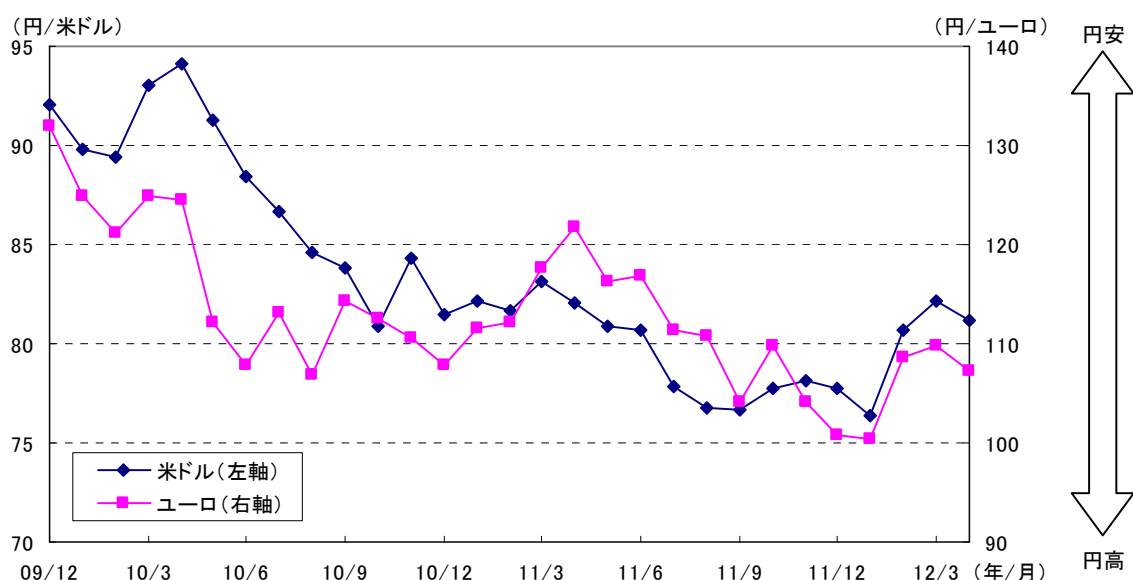
当資料は、「ハイブリッド・インカムオープン」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前ののものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

③ 為替市場

2010 年前半には、ギリシャなどの欧州周辺国の債務問題が懸念されたことから、ユーロは円に対して下落(円高)しました。2010 年後半にかけて、米国における景気減速やFRB(米連邦準備制度理事会)による追加金融緩和への期待から米ドルは円に対して下落(円高)しました。2011 年 3 月には東日本大震災後の G7 による円売り協調介入により、米ドルやユーロは円に対して大幅に上昇(円安)する場面があったものの、各国景気に対して慎重な見方が広がるなかでは一時的な動きにとどまりました。2011 年 6 月から年末にかけては、世界的に景気が減速するなか、FRB が低金利政策を長期化するとの観測や ECB による利下げなどの金融緩和策が行なわれたことから、米ドルやユーロは円に対して下落(円高)しました。2012 年以降には、金融市場の安定化により安全資産として円を買う動きが後退したことや、日銀がデフレ脱却に向けて強力に金融緩和を推進していく方針を示したことから、米ドルやユーロは円に対して上昇(円安)しました。

米ドルとユーロの対円為替レート推移

期間:2009 年 12 月末～2012 年 4 月末、月次



(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成
上記のグラフは過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

引き続き、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以上

【使用したデータについて】

高格付債券市場は、「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、現地通貨ベース)」、米国ハイ・イールド・ボンド市場は「BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス」を使用しています。

【使用したデータの著作権等について】

シティグループ世界国債インデックス(除く日本)は、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した指数であり、同指数に対する著作権、知的所有権、その他一切の権利は同社に帰属します。BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield, Cash pay, BB-B Rated, Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する指数であり、当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属します。

当資料は、「ハイブリッド・インカムオープン」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標として積極的な運用を行いません。
- 日本を除く世界の高格付けの債券(高格付債)および米国の高利回りの事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「海外アクティブ債券マザーファンド」、「ハイ・イールドボンドオープンマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 高格付債とハイ・イールド・ボンドへの資産配分は50%:50%程度を基本とし、分散投資効果により信用リスクを抑えつつ、高水準の利息収入および売買益の獲得を目指します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- シティグループ世界国債インデックス(除く日本)およびBofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックスを野村アセットマネジメントが独自に円換算し、各々を50:50の割合で合成した指数(円ベース)をベンチマークとします。
- 高格付債への投資にあたっては、ソブリン債(日本を除く世界先進主要国*が発行する国債・政府保証債)を中心とした債券に投資することを基本とします。
※シティグループ世界国債インデックス(除く日本)の採用国とします。
- ハイ・イールド・ボンドへの投資にあたっては、業種分類を考慮した分散投資と企業調査を重視した銘柄選定を基本とします。
- ファンドは「海外アクティブ債券マザーファンド」、「ハイ・イールドボンドオープンマザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「海外アクティブ債券マザーファンド」の運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメンツU.K.リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 「ハイ・イールドボンドオープンマザーファンド」の運用にあたっては、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメンツ・インク(NCRAM社)に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

—— 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。——

【投資リスク】

ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(平成16年6月23日設定)
- 決算日および収益分配 年6回の決算時(原則1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万円以上1万円単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

【当ファンドに係る費用】

(2012年5月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.15%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.3125%(税抜年1.25%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依り異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:社団法人投資信託協会/社団法人日本証券投資顧問業協会

当資料は、「ハイブリッド・インカムオープン」に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますのでこの他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ハイブリッド・インカムオープン

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	社団法人 日本証券投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
株式会社北日本銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第14号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。